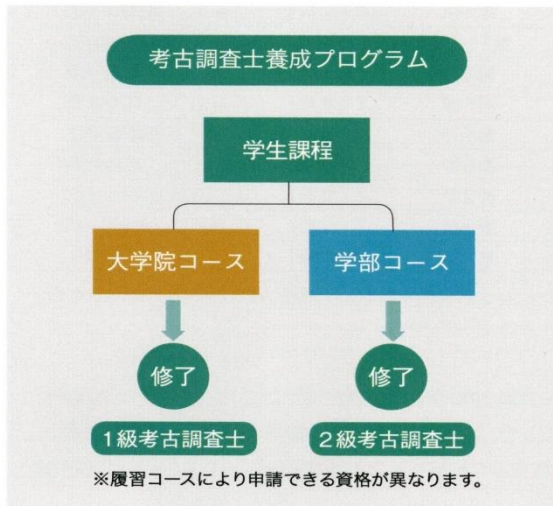


2024年度考古調査士養成プログラム

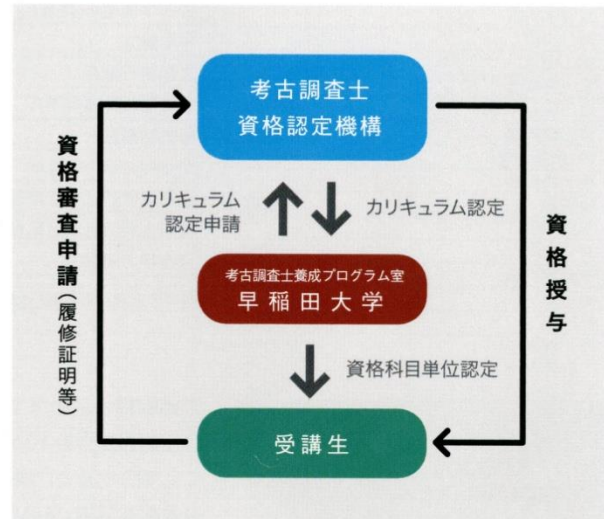
履修の手引き(学生課程)

履修コースと受講条件(学生課程)

考古調査士養成プログラムでは、考古調査士資格の取得を目指すコース及び科目群を設置しています。



〈コース設計〉



〈資格授与のしくみ〉

学生課程のコースと資格

学生課程には2級考古調査士資格に申請できる学部コースと、1級考古調査士資格に申請できる大学院コースの2コースが設置されています。

在学中に必要な資格科目を修得した場合、卒業前に資格申請をすることができます。また他学部生の聴講も可能です。

早稲田大学文学学術院考古調査士養成プログラムホームページ

<http://www.waseda.jp/prj-maibun/>

考古調査士資格認定機構ホームページ

<http://www.jabar.jp/>

学部コース

学部学生を対象としたコースで、2級考古調査士に対応します。

本コースでは必修科目の「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」と、下記の指定科目を修得し、必要単位数を満たすことで資格申請ができます。

履修方法については学部コースの説明を十分確認した上で、所定の科目登録の手続きを行ってください。

考古学コースの学部生 考古学コース設置必修科目

文学部考古学コースに在籍する学生は、表1に掲げるコース設置の指定科目の中から合計10単位を満たすと、2級考古調査士に資格申請する要件を満たします。

「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」を必修科目とします。

(表1)

科目名	科目群	単位数	学期
考古学演習1(実習) A, B	第4群	2	春学期
考古学演習2(実習) A, B	第4群	2	春学期
考古学演習3(実習) A, B	第4群	2	秋学期
考古学演習4(実習) A, B	第4群	2	秋学期
卒業論文 ★	第1～7群	2	通年
文化財行政学【必修】	第5群	2	春学期
考古学と関連科学 A	第6群	2	春学期
考古学概論	第1群	2	春学期
文化財の保存と活用【必修】	第5群	2	春学期
原始古代の社会と宗教(アジア)	第3群	2	秋学期
原始古代の社会と宗教(エジプト・マヤ)	第3群	2	春学期
考古学方法論	第2群	2	秋学期

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

※2010年度～2023年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。

★考古学に関する卒業論文は、テーマに応じて、第1科目群から第7科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができます。ただし2単位相当とします。

考古学コース以外の学部生 全学オープン科目

考古学コース**以外**の文学部生ならびに他学部生はこちらの科目を履修してください。

資格取得希望の文学部考古学コース以外の学部学生は、表 2 に掲げるオープン科目の指定科目を合計 10 単位修得することで、2 級考古調査士の資格を申請する要件を満たします。

「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」を必修科目とします。

(表 2)

科目名	科目群	単位数	学期
文化財行政学【必修】	第 5 群	2	春学期
考古学と関連科学 A	第 6 群	2	春学期
考古学概論	第 1 群	2	春学期
文化財の保存と活用【必修】	第 5 群	2	春学期
原始古代の社会と宗教（アジア）	第 3 群	2	秋学期
原始古代の社会と宗教（エジプト・マヤ）	第 3 群	2	春学期
考古学方法論	第 2 群	2	秋学期

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

※2010 年度～2023 年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。

＜科目設置と履修に関する注意＞

学生課程に設置する資格科目群は、科目の性質や内容によって、基本的に第 1 科目群から第 7 科目群までに含まれます。これらは、いずれも考古学に重要な専門知識と技術、埋蔵文化財に関する諸知識を網羅しています。したがって、履修者は、設置された科目群の中から幅広い範囲にわたって科目を履修することが望ましく、最低 3 科目群にわたって必要な単位を修得する必要があります。また、1 科目群の中から申請できるのは、2 科目、4 単位以内とします。

大学院コース

考古学コースの博士後期課程・修士課程学生

本コースは2級考古調査士の資格を有すること（または2級考古調査士資格相当の単位を修得済み）を条件とします。大学院文学研究科考古学コースの博士後期課程および修士課程に在籍する学生は、大学院の考古学コースに設置する指定科目を履修し、必要単位（博士8単位、修士8単位）を満たすことにより、1級考古調査士資格に申請する条件を満たします。

必修科目として、「文化財行政学特論」、「文化財の保存と活用特論」、「考古学特殊研究」（修士課程必修）、「考古学特殊演習」（博士後期課程必修）、「考古学専門実習」を指定します。

（表4）

科目名	科目群	単位数	学期
1. 文化財行政学特論【必修】	第5群	2	秋学期
2. 文化財の保存と活用特論【必修】	第5群	2	秋学期
3. 考古学特殊研究【修士課程必修】	第3群	2	秋学期
4. 考古学特殊演習【博士後期課程必修】	第3群	2	秋学期
5. 考古学専門実習【必修】	第4群	2	通年

※「3. 考古学特殊研究」は修士課程、「4. 考古学特殊演習」は博士後期課程に設置した科目ですので、履修年次にご注意ください。

※1. 2. 3. 5は修士課程の、また1. 2. 4. 5は博士後期課程の必修科目です。

※2009～2023年度に修得した上記5科目を資格申請に加えることが可能です。

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

他コースの修士課程学生

2級考古調査士の資格を有する（または2級考古調査士資格相当の単位を修得済みの）考古学コース以外の文学研究科修士課程に在籍する学生は、表4の指定科目8単位に加えて、大学院考古学コースに設置された研究科目（考古学研究1～12）のうちから2科目4単位以上を履修し、合計12単位以上を修得することにより、1級考古調査士資格に申請する要件を満たします。

必修科目として、「文化財行政学特論」、「文化財の保存と活用特論」、「考古学特殊研究」、「考古学専門実習」を指定します。なお、博士後期課程に在籍する学生は対象外となります。